

たいとうとう
とう
たきぎ
のう

台東新能

第46回



<火入れ式>
木遣り・纏振り 第五區木遣り会

能 ◆^{すみだかわ}隅田川^{さいしき}彩色 坂 真太郎

狂言 ◆^{くちまね}口真似 山本泰太郎

能 ◆^{こがし}小鍛冶^{しろがら}白頭 観世 喜正

終演後、フォトセッションタイム

令和8年6月3日(水)

開場:午後5時15分 開演:午後6時

※開演直前は大変混み合いますので、時間に余裕をもってお越しください。

会場:金龍山浅草寺境内

(雨天時:台東区立浅草公会堂)

共催:台東区

協賛:どぜう 飯田屋/天麩羅 中清/株式会社 宮本卯之助商店

協力:金龍山浅草寺/浅草花やしき

写真:能「小鍛冶」白頭 観世喜正 (撮影:青木信二)



本公演は「能サポ」を導入しています
(利用無料)

入場料(全席指定) S席 5,000円 A席 4,000円
(未就学児入場不可)

入場券発売日 令和8年4月8日(水)午前9時より
入場券取り扱い

WEB 台東区芸術文化財団オンラインチケットサービス
電話 CNプレイガイド 0570-08-9999
(営業時間午前10時~午後6時)



※セブンイレブン・ファミリーマートでの発券手続きが必要となり、手数料が発生いたします。
※電話購入では、座席選択はご利用できません。予めご了承ください。
※公演日が近づくにつれて電話受付は終了となります。詳しくはお問合せください。
※前売券が完売した場合は、当日券の販売はございません。

窓口 台東区立浅草公会堂窓口(午前9時~午後5時)

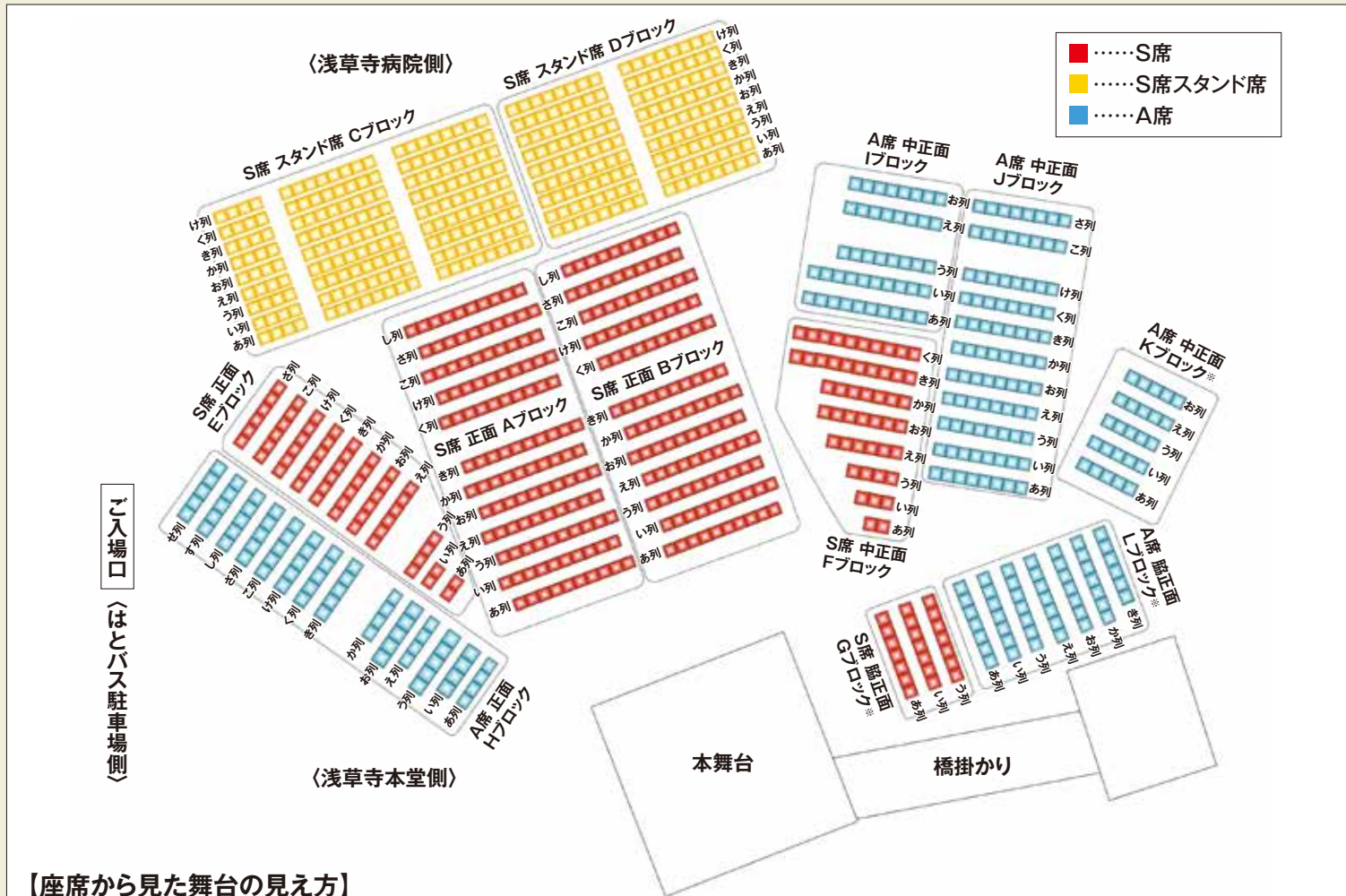
・上演中の写真撮影及び録音、録画は固くお断りいたします。
・屋外での開催となりますので、熱中症対策や虫刺され対策を各自でお願いいたします。

主催・お問合わせ 公益財団法人 台東区芸術文化財団

TEL 03-5828-7591
https://www.taitogeibun.net



浅草寺境内 座席図(全席指定)



【座席から見た舞台の見え方】

〈スタンド席から〉

※傾斜があり、舞台全体がよく見える席です。

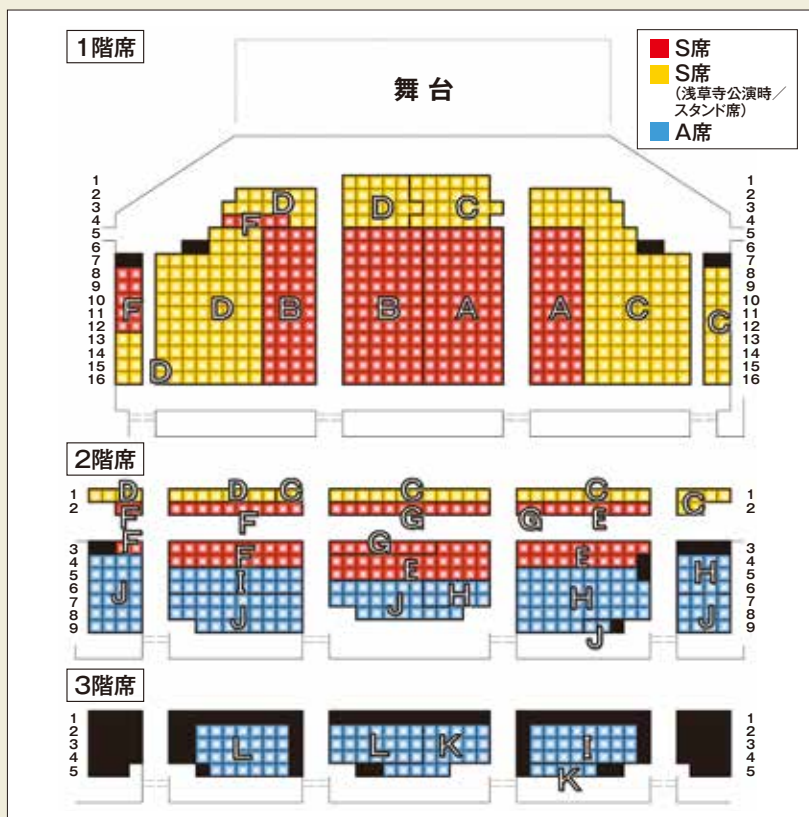


〈スタンド席以外から〉

※舞台から近い席です。座席に傾斜がございません。



雨天時会場:浅草公会堂 座席図(全席指定)



【晴天時の浅草寺境内座席について】

- 脇正面G・Lブロックについて
演出の都合上、照明が眩しく感じる場合がございます。
- 中正面Kブロックについて
お席によっては、舞台の一部が見えにくい場合がございます。
- 篝火の使用について
本公演は、薪能の形式に則り、篝火を用いて上演します。上演の途中で薪をくべる必要がございます。予めご了承ください。

【雨天時の浅草公会堂座席について】

- S席の方は1階席・2階席前方、A席の方は2階席後方・3階席に振替となります。
 - 雨天時の座席について
チケット券面に記載の雨天時振替座席「○階○列○番」をご確認ください。
 - 浅草寺境内の会場にて連番のお席でも、浅草公会堂では横並びにならない、あるいは通路を挟んだお席となる場合がございます。予めご了承ください。
- ※各会場の座席番号及び雨天時における座席詳細につきましては、台東区芸術文化財団ホームページ(<https://www.taitogeibun.net>)をご覧ください。
- 途中降雨による中止の場合でも、能「隅田川」終了後は払戻しいたしかねますので、予めご了承ください。

台東薪能

令和八年六月三日(水) 午後六時開演
於・金龍山浅草寺境内(雨天時 浅草公会堂)

ご挨拶

〈火入れ式〉

木遣り・纏振り 第五區木遣り会

能

番組

子方(梅若丸)

坂 賀子

シテ(狂女)

坂 真太郎

隅田川

ワキ(渡守)

宝生 常三

彩色

ワキツレ(旅人)

則久 英志

大鼓 柿原 考則
小鼓 鷗澤洋太郎

笛 一噌 隆之

石井 寛人 佐久間二郎

後見 永島 充

奥川 恒治

地謡

奥川 恒成

鈴木 啓吾

中森健之介

遠藤 喜久

狂言

口真似

シテ(太郎冠者)

山本泰太郎

アド(主人)
アド(客人)

山本 則孝
山本 則秀

〈休憩〉

能

小鍛冶

白頭

前シテ(童子)
後シテ(稻荷明神)

観世 喜正

ワキ(三條宗近)

館田 善博

ワキツレ(勅使)

梅村 昌功

間(宗近ノ下人) 山本凜太郎

大鼓 柿原 弘和
小鼓 鷗澤洋太郎

大鼓 小寺真佐人
笛 一噌 隆之

金子仁智翔

永島 充

後見 佐久間二郎

遠藤 喜久

地謡

中森健之介

鈴木 啓吾

桑田 貴志

奥川 恒治

小島 英明 角当 直隆

能 『隅田川』

彩色

坂 真太郎

隅田川畔で繰り広げられる母・子別離の哀しみと人々の祈りを、春の詩情あふれる風景の中に描く能の代表作。

一人児の梅若丸が人買いに浚われ東国に連れ去られた。それを知った母は物狂いとなって都北白川を彷徨い出る。やがて武蔵・下総国の間を流れる隅田川畔に辿り着いて渡し船に乗るが、その時、向こう岸から大念仏が聞こえる。船頭が船中の人々に、人買いに置き去りにされ死んだ少年の話をした。去年の今日のことだという。次第に物狂いの女の様子が変わる！。

彩色は、遙々やってきた物狂いの心持ちを短い所作で表す演出。

狂言 『口真似』

山本泰太郎

さる方から酒を頂戴した主人は太郎冠者を呼び出し、酒の相手になる面白い客を連れて来いと命じる。やがて冠者が連れてきた客は、酒癖の悪さで知られた男だった。困った主人は適当にあしらって追い返そうとし、冠者を陰に呼んで、これからは全て自分の真似をせよと言ひ含める。やがて客の前に出て初対面の挨拶をした主人が冠者に「お盆を出せ」と命じると、冠者は客に向かって「お盆を出せ」と言い放つ。

主人の思惑はどこへやら、太郎冠者の愚直な仕草が笑いを誘う。

能 『小鍛冶』

白頭

観世 喜正

一条院は、三條宗近に御剣を打つよう勅命を下す。宗近は自分に劣らぬ技量の相槌を求めて氏神の稻荷に助力を願うと、その帰り道で異形の風体の者に出会う。剣によって平和がもたらされた故事を語り、相槌を務めるから私宅で待てと約束し稻荷山の向こうに消えたその者こそ、稻荷明神の化身であった。

やがて「小鍛冶宗近」「小狐」の二つ銘の御剣は見事に打ち上がり、院に献上された。

白頭は、狐の神霊の位が常より重くなり、装束・型などが大きく変わる。

【演目のあらすじ】 能楽評論家 児玉 信

終演予定 午後八時五十分

台東新能について

江戸幕府の庇護のもとにあった能楽は明治維新で大打撃を受けます。明治2年、徳川宗家とともに観世大夫も静岡に移りました。混乱のなか江戸に残って能楽を守った一人が初世梅若実です。慶應元年に厩橋の自宅に建てた小さな舞台が復興の拠点の一つになりました(のち篠山藩青山家の江戸中屋敷舞台を移築)。明治8年、上根岸にあった加賀前田家の屋敷に能舞台が作られました。後に染井に移築され長く親しまれます。現在は横浜能楽堂に移築されています。昭和11年、東京藝術大学に邦楽科が設置され能楽も教科の一つになりました。

能楽と台東区とのこうした深い縁があって台東新能は生まれました。新能は、本来は春の季語にもなっている神事です。現在は主として、野外の仮設舞台で夜間に篝火を焚いて行われる能の公演を指します。`火入れ式、`が大きな呼び物ですが、台東新能では木遣りで火が運ばれるのが他にはない特色です。台東区民が育てて来た新能を、末永くご支援ください。

(児玉 信)



「過去の公演の様子」撮影：駒井社介



能『隅田川』彩色 能楽師シテ方観世流 坂 真太郎

昭和47年、故・坂 真次郎の長男として東京都台東区に生まれる。三世・観世喜之師に師事。昭和50年に初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽専攻を卒業。在学中に「安宅賞」を受賞。平成15年に皇居・桃華楽堂で独鼓「菊慈童」を皇后陛下の御前にて奏演。浅草寺境内での「台東新能」には、昭和56年より出演。NHK大河ドラマに多数出演。現在、台東区アートアドバイザー、たいとう観光大使、一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、公益社団法人 能楽協会 東京支部常議員。台東区在住。



狂言『口真似』 能楽師狂言方大藏流 山本 泰太郎

埼玉県狭山市出身。故・山本則直の長男。父及び山本東次郎(人間国宝)に師事。昭和51年10月、景英後援会にて狂言「鞠猿」の子猿で初舞台。昭和63年、国立能楽堂開場五周年記念にて「千歳」を披く。平成8年11月山本会別会追善公演にて「釣狐」、17年山本会別会にて「花子」を披く。平成22年度第65回文化庁芸術祭優秀賞受賞。平成23年5月、第15回日本伝統文化振興財団賞受賞。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、公益社団法人能楽協会会員。静岡文化芸術大学特別講師。



能『小鍛冶』白頭 能楽師シテ方観世流 観世 喜正

昭和45年、三世・観世喜之の長男として東京に生まれる。2歳半にて初舞台。本拠地の東京神楽坂の矢来能楽堂を中心に、全国各地での公演に多数出演する他、普及活動や講演も多く行なう。慶應義塾大学法学部卒業。公益社団法人 観世九阜会理事長。公益社団法人 能楽協会理事。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)、法政大学大学院、皇學館大学非常勤講師。著書「演目別に見る能装束」(淡文社)、DVD「スピカろうそく能」(日本伝統文化振興財団)ほかの主演・作成・監修。



「能サポ」対応公演 アプリを事前にダウンロードしてご使用ください。

舞台の上演に合わせて演目の解説などが自動でスマートフォン・タブレットに表示されるサービスです。お持ちのスマートフォン・タブレットでどの座席からでも、解説をご覧いただけます。(能「隅田川」「小鍛冶」のみ。機器の貸し出しはございません。日・英対応。)



App Store



Google Play

〈ご利用方法〉
二次元コードを読み込んでEG-Gアプリサイトを
ご確認ください



会場周辺案内図



金龍山浅草寺境内 台東区浅草 2-3-1

アクセス

- 東武スカイツリーライン：浅草駅より徒歩 約5分
- 東京メトロ銀座線：浅草駅より徒歩 約5分
- つくばエクスプレス：浅草駅より徒歩 約10分
- 都営地下鉄浅草線：浅草駅A4出口より徒歩 約10分
- 都営バス：浅草雷門より徒歩 約5分
- 台東区循環バス北めぐりん(浅草回り)：二天門、浅草寺北より徒歩 約3分

- 会場入口は浅草寺境内観光バス駐車場側となります。
- 会場には駐車場がございません。
- 駐輪場は「隅田公園自転車駐輪場」、「つくばエクスプレス浅草駅北自転車駐輪場」、「つくばエクスプレス浅草駅南自転車駐輪場」をご利用ください。

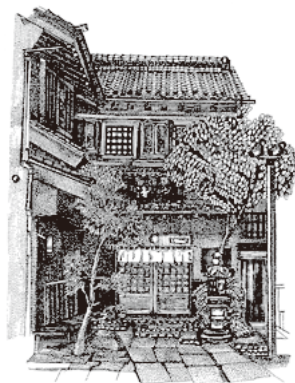
雨天の場合

- ・雨天の場合は台東区立浅草公会堂(台東区浅草1-38-6)にて行います。
- ・途中降雨による中止の場合でも、能「隅田川」終了後は払戻しいたしかねますので、予めご了承ください。



磨き込まれた籐敷に胡座をかいて“どぜう鍋”一刻文豪気分です。

〒111-0035 東京都台東区西浅草3-3-2 合羽橋本通り 電話：(03) 3843-0881
営業時間：午前11：30～午後9：00 (水曜日定休)



天麩羅中法
台東区浅草一ノ三九ノ一三
(浅草公会堂前)
電話(三八四一)四〇一五(代)
<http://www.nakasei.biz/>



囃子が誘う、
幽玄の世界

この国の佳き伝統とともに 宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売
www.miyamoto-unosuke.co.jp



浅草 花やしき

台東区浅草 2-28-1 浅草寺となり



公式 HP